

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっぺ コラム

市長 佐竹敬久



二〇〇七年問題：ある視点

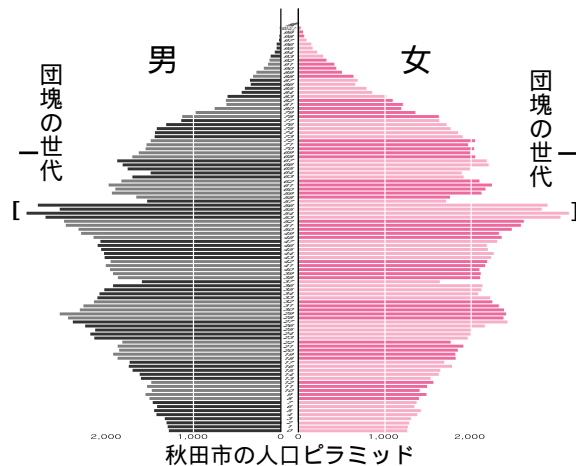
今月は、最近よく目にする「二〇〇七年問題」という少しシリアスな話題を取り上げることになります。

二年後の二〇〇七年には、団塊の世代の第一期生の昭和二十二年生まれの世代が六十歳定年を迎え大量に現役から退き、その後も団塊の世代の大量退職が続きます。

団塊の世代といわれるように人口構成が大きいことから、問題点として、退職金支払いが増える、年金をもらう人が急増するなどがいわれられました。また、もうひとつの問題点として、最近クローズアップされてきました。

それは、産業技術の社会では、この団塊の世代こそが世界に冠たる日本の高度技術の基礎を築き、信頼度の高い最高品質の工業製品を生み出す中心であったということです。

優れた工業製品を造るのに、どんなに自動工作機械が発達しても、その根底には神業ともいえる職人技に支えられて造り出された標準機器や精微な調整技術が存在します。さらに改良を重ねながらレベルアップするためには、記録に残すことが難



しい長年の経験の蓄積が必要です。

現代社会に欠かせないコンピューターシステムにしても、現在その運用に直接従事しているのは若年層であることから、若年技術者中心の世界であるかのように思われますが、そのシステムの根幹を開発したのは団塊の世代であり、大きなシステムほどオリジナリティを有し、全体を熟知しているのは試行錯誤でシステムを構築してきた団塊の世代です。

団塊の世代が基礎から築き上げた技術や機器、システムを与えられただけの若年技術者層のみとなった日本の産業界は、根のない浅いものになりかねないのが現実です。

また、全国各地の伝統工芸品産地でも、団塊の世代に続く後継者が急激に少なくなり、日本文化の象徴が存亡の危機に瀕しています。

このようなことから、産業界では若年技術者へのノウハウの伝授や、技術の復習、記録などに力を注ぎ始めています。また、多くの伝統工芸品産地でも、厳しい環境のなかで国などの支援のもとで後継者育成に取り組んでいます。

いずれ、いかに国際化が進み構造変化が進んでも、日本が生きていくための基盤は、これからも世界をリードする「ものづくり」にあることは紛れもない真実だと思います。

二〇〇七年問題に、あらためて日本の「ものづくり」の奥深さを感じるとともに、その克服を日本再生の足がかりにしなければという感を強くする大事な時事問題です。



ワークショップ発表会

とき 10月8日(土) 午前10時〜午後零時30分

ところ 秋田公立美術工芸短大 大講義室

定員 180人

第1部 チームごとの発表と意見交換

テーマ..みんなで考える西部地域

基調講演「新屋と私」

講師 秋田公立美術工芸短大 石川好学長

参加者によるパネルディスカッション

第2部

地域の声が生かされます

「市民協働」と「都市内地域分権」の拠点となる市民サービスセンター。市内七地域で整備を予定しています。その最初となる(仮称)西部地域市民



みんなで出し合った知恵があなたに

サービスセンターについて、その機能や活用方法を地域のみなさんと一緒に考えるため、七月から市民のみなさんと市の職員が三つのチームに分かれ、ワークショップ(話し合いの場)を開いてきました。「あなたがセンター長になったら？」というテーマで、センターのイメージや必要な機能などについてさまざまな意見交換を行いました。

このたび、ワークショップに参加した各チームの意見がまとまり、話し合いの結果を発表する会を開催します。市民のかたがたがまとめ上げた成果をぜひお聞きください。どなたでも参加できます。直接会場へどうぞ。

問い合わせ

市民協働・地域分権推進室
tel(866)2037



避難場所が変わりました

災害時の避難場所・施設が変わりました。この機会に、避難場所を確認しておきましょう。避難場所は、市ホームページでも確認できます。
<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/>

新しく指定した避難場所・施設

秋田公立美術工芸短大のグラウンドと体育館(新屋大川町12-3) 栗田養護学校グラウンド(新屋栗田町10-10) 旭北地区コミュニティセンター(大町四丁目4-15) 保戸野地区コミュニティセンター(保戸野中町6-12)

解除した避難場所・施設 (カッコ内は最寄りの避難場所・施設)

雄和市民センター前広場(雄和中学校グラウンドなど)
大正寺連絡所前(大正寺小学校グラウンドなど)
旧秋田東高校(中通小学校など)
鶴養多目的センター(東生活改善センターなど)
旧大正寺中学校(大正寺小学校など)

問い合わせ 防災対策課tel(866)2021

キノコ食中毒に注意!

衛生検査課tel(883)1181

野山の散策が楽しいこの時期。でも、毒性の強いキノコや有毒植物には、誤って食べると死んでしまうものもあります。種類がわからないキノコや植物は「採らない」「食べない」「人にあげない」が原則です。次のことを守り、誤食による食中毒を防ぎましょう!

確実に鑑定された食用キノコや植物以外は、絶対に採って食べないこと



キノコは生育時期・環境などにより、色・形が異なるので、図鑑の写真や絵を見て素人判断しないこと
「茎が裂けるキノコ」「虫が食べているキノコ」にも毒キノコはあります。不確かな情報は信じない!

食中毒を起こすおもな毒キノコ

種類	毒キノコの生育場所	間違えやすい食用キノコ
ツキヨタケ	ブナなどの枯れ幹に重なり合って生え、高い樹上にも生える	シイタケ ムキタケ
クサウラベニタケ	広葉樹や松の混じった林内地上に群生する	ウラボテシメジ ハタケシメジ
カキシメジ	雑木林、松林などの地上に単生〜群生する	チャナムツタケ
ドクササコ	広葉樹や針葉樹の枯れ木や切り株に生える	ナラタケ